

第 1 号議案：2023 年度 活動計画

2023 年度（2023 年 4 月 1 日 - 2024 年 3 月 31 日）

始めに

国際圧入学会 IPA の使命は「実務者・発注者・研究者による産・官・学の国際協力によって圧入工法の発展を図り、環境に配慮した建設を奨励し、もって社会の発展に寄与する」ことである。

IPA 会員、理事、監事、IPA 各委員会はこの使命を再確認し、複雑化・高度化する社会課題に対して何を為すべきかを考え、学会活動を通じて圧入工学の研究活動、情報交換、社会実装を促進し、社会的使命を果たす必要がある。

昨年 15 周年を迎えた IPA は、20 周年に向けて、さらなる国際化、研究活動の拡大、会員数の増加、組織体制の基盤強化を目指して活動を行っている。

その中で、2023 年度は 5 つの常設委員会のそれぞれが IPA 会員の便益と国際社会への貢献のために、互いに協力しながら効果的かつ効率的に機能するように、より物理的で実践的な活動の推進を目指している。

各委員会の 2023 年度活動計画を以下に記す。

1. 研究委員会

研究委員会では、研究活動の拡大、ケースヒストリー・資料の収集、圧入技術の普及の 3 点に重点を置いて活動する。また、研究委員会の委員長と各技術委員会の委員長との間で定例会議を開催し、計画通りに活動を進めていく。

A) 技術委員会

2023 年度は TC4、TC5、TC6 の技術委員会活動を進める。

TC-4 : 圧入された鋼矢板および回転切削杭圧入杭の鉛直支持力特性と施工管理方法に関する技術委員会

再調整した計画に基づき、今年度中に最終報告書を技術委員会に提出する。

TC-5 : オペレーターの技量と経験が圧入工法の施工性に及ぼす影響に関する技術委員会
圧入管理システムデータの収集に遅れが生じており、少なくとも 1 年間の期間延長が必要である。今年度中に杭施工業者から 20 件の圧入管理システムデータを収集することを目標とする。

TC-6：中国における圧入技術の実態調査と課題の抽出に関する技術委員会

2023 年度も施工事例収集を継続する。また、中国語版の圧入ハンドブック改訂に向けてアンケート調査を開始する。

今年度、研究委員会では新規研究テーマを募集する。新たな研究が具体化された際には、新しい研究委員会を立ち上げて活動を進める。

B) ケースヒストリー

a. ケースヒストリーVol. 2（圧入工法適用事例集）

研究委員会で 2022 年度に編集を行ったものを 2023 年度第一四半期に発行予定。

b. 圧入工法のケースヒストリーの募集（テーマ特定型）

引き続きケースヒストリーの収集を行う。

[IPA ウェブサイト「圧入工法に関するケースヒストリーの募集」参照](#)

C) 図書館機能（蔵書）

様々な分野の書籍を収集する。

[IPA ウェブサイト「図書館」参照](#)

D) 圧入工学セミナー

圧入工学が現場実務で効果的に用いられている事例を中心に、セミナーのテーマおよび会場を考察し、関連プロジェクトの有無に応じて検討する。まず、テーマを決定するために参考となるような適切なプロジェクトを探す。

2. 事業委員会

事業委員会は、圧入技術普及のための各種出版物の発行やセミナー、会議など、様々な活動を継続的に行う。

A) Press-in Handbook（圧入ハンドブック）の多言語化

2023 年度中にアラビア語版、韓国語版の圧入ハンドブックを発行し、中国語版の改訂を下記のスケジュールで進める。

～2023 年 7 月	内容更新の概要を策定
2023 年 9 月～2024 年 6 月	執筆・翻訳
2024 年 6 月～2024 年 12 月	編集
2025 年 1 月～2025 年 10 月	最終確認
2025 年末	発行

B) 海外圧入セミナー

圧入ハンドブックを軸とした圧入工法の普及に向け、オンライン・オフライン双方のハイブリッド方式のセミナー開催を検討。2023 年 6 月 14 日には台湾で圧入セミナーを開催する。また、次年度以降もフィリピン、インドネシア、タイ、アジア地域以外ではアフリカなど様々な国や地域でセミナーを開催することを検討している。

C) 圧入工法仕様書

2024 年度末までの仕様書の完成を目標に、2023 年 8 月までに全体の 60～70%の内容が完成するよう仕様書の起草を進めていく。

D) 圧入技術に関する用語集策定

第三回圧入工学に関する国際会議（ICPE2024）前の公開を目標に、2023 年度も下記のタイムテーブルに従って活動が続ける。

ワーキンググループ	タスク	2022年度	2023年度	2024年度	
				第3回ICPE	
グループ合同 (全体)	方針決定	←→			
	対応表の作成		←→		
	必要に応じて英→和、和→英翻訳		←→		
	見直し、修正		←→		
	公開した用語への意見収集、プラットフォームの修正、データの追加・修正			→	
	ミーティング	x	x	x	
	公開★、更新 ☆		★1	★2	★
グループ 1	キーワード*の抽出、優先順位の確認	←→			
	必要に応じて定義の付与、和→英翻訳		←→		
	見直し・修正、要望があれば追加		←→		
グループ 2	キーワードの抽出、優先順位の確認	←→			
	必要に応じて代替案/改名案の検討	←→			
	必要に応じて定義の付与		←→		
	定義に必要な図表の準備		←→		
グループ 3	見直し・修正、要望があれば追加		←→		
	英語・他言語の対応表の作成		←→		
事業委員会による維持・更新				☆	☆

★1: 日英用語集DBを暫定的にウェブ公開
★2: 他言語の用語集を暫定的にウェブ公開
★: 用語集を正式にウェブ公開

E) 第三回圧入工学に関する国際会議（ICPE2024）

2024 年 7 月 3～5 日にシンガポールで ICPE2024 を開催する。本会議のテーマは「持続可能なインフラ建設の実現に向けた気候変動対策としての圧入工法の優位性」。2023 年 9 月までにプログラム案（時間枠・チャンネル数）と会議費用を確定させる。フルペーパーの査読および論文の採択通知の発表も 2023 年度に行う。

[ICPE2024 公式ウェブサイト参照](#)

3. 広報委員会

広報委員会は、IPA ニュースレターやブックレットの発行を継続するとともに、会員が利用可能なデジタルコンテンツの充実を図る。

A) IPA ニュースレターの定期配信

IPA ニュースレター編集委員会は、今後も 3 か月ごとにニュースレターを発行していく。編集委員会では、必要な場合、より多くの執筆者を集めるために特別寄稿の著者（非会員に限定）への報酬の支払いを検討する。

B) IPA ブックレット 3：災害

これまでのニュースレターに掲載された自然災害防止に関する特別寄稿を再編集し、小冊子として 2023 年度に発行する。

4. 表彰委員会

表彰委員会では、引き続き ICPE2024 での受賞候補者の選定準備を進めるとともに、特に若手世代を対象とした賞の新設を検討する。

- ICPE2024 での表彰に向けて、候補となる論文やプロジェクトの収集を開始する。
- 若手世代を対象とした新しい賞の規定や枠組みを確立する。
- 圧入工学の発展に寄与するため、既存の表彰制度への応募を奨励する。

5. 総務委員会

総務委員会では IPA の活動を円滑に運営するため、日常業務の処理、他の常設委員会の調整を行う。円滑な運営を促進するため、総務委員会では 2023 年度より東京の本部事務局と現地事務局との間で定例会議を実施していく。また、さらなる国際ネットワークの構築を推進し、正会員、法人会員、学生会員のすべてを対象に IPA メンバーシップを強化させる。特に 2023 年度は、学生会員数の大幅な増加に注力する。

A) 国際ネットワークの構築と発展

- a. 海外に日本の全国圧入協会（JPA）のような業界団体を設立可能か検討する。
- b. 若手研究者・技術者を IPA 活動に招き入れ、国際的なネットワークを広げるとともに、世界各地の若手研究者・技術者の育成を促進する。
- c. 各現地事務局の副会長および担当者は IPA ネットワーク拡大のための活動を推進する。上記の活動を支援するため、本部事務局と現地事務局との間で定例会議を実施する。
- d. IPA 会員同士の交流を深めるため、会員同士が気軽にコミュニケーションを図られる機会を設けることを検討する。

B) IPA 会員の拡大

- a. IPA 活動の認知度を高める方策を検討する。
- b. 学生会員勧誘の方策を検討する。（例：特典の充実、現場見学会の実施など）
- c. 法人会員勧誘の方策を検討する。

6. その他

2023 年 7 月に高知県で年度最初の IPA 理事会を開催するとともに、IPA の認知度向上と社会貢献を目的に、高知県内の教育機関での学術講演や公開セミナーをあわせて開催する予定である。

第 2 号議案：2023 年度予算

予算書2023年度

(2023.4.1-2024.3.31)

(単位:円)

項 目	2022年度収支	2023年度予算	備考
事業活動収支			
1 事業活動収入の部			
① 会費収入			
個人正会員年会費	7,130,000	7,160,000	
法人会員年会費	6,796,000	6,900,000	
② 寄付金収入			
寄付金	16,000,000	16,000,000	
③ その他収入			
研究受託費	0	0	
書籍販売	2,022,750	2,000,000	
国内セミナー	0	100,000	圧入工学セミナー参加費
海外セミナー	0	800,000	台湾セミナー参加費、スポンサー費
立替金	0	191,940	台湾セミナー航空券の立替金費
雑収入	18,957	500	銀行利子等
事業活動収入計	31,967,707	33,152,440	
2 事業活動支出の部			
① 会議・セミナー関係			
第3回 国際会議 ICPE2024 (2024.7 開催予定)	0	100,000	
国内セミナー	0	400,000	圧入工学セミナー開催費
海外セミナー	406,334	500,000	台湾セミナー開催費
② 出版関係			
Press-in Handbook	2,213,210	1,800,000	韓国語版、中国語版、アラビア語版の編集、執筆費等
Case History Volume 2	0	1,000,000	編集・印刷費等
IPA Newsletter	214,767	220,000	
小冊子シリーズⅡ・杭基礎	267,300	0	
小冊子シリーズⅢ・災害関連	0	260,000	編集・印刷費等
③ 研究・運営関連			
理事会	5,461,603	5,600,000	理事会開催費用
会長・事務局長活動費			
会長活動費	0	1,000,000	
事務局活動費	0	600,000	
現地事務局活動費	0	800,000	
研究委員会(技術委員会)活動費	500,000	200,000	
圧入仕様書	0	100,000	
表彰関係	0	0	
図書館機能	1,365,966	600,000	
その他(調査・他学会参加費)	487,523	200,000	
④ 管理関連			
15周年記念式典	820,853	0	
情報システム関連費	2,624,316	2,300,000	
会員管理	0	20,000	
印刷費用(書籍関連除く)	6,640	48,000	学会案内等(書籍関連除く)
郵送費(国内外)	146,518	180,000	
通信費	95,335	96,000	電話代
理事報酬	10,768,445	10,998,810	
賃借料	3,285,946	3,360,000	事務所家賃・複合機の賃借料等
契約外注費	1,641,204	1,633,812	
支払手数料	255,407	300,000	銀行手数料等
事務用品費	53,783	255,000	
雑費	376,596	360,000	
立替金	191,940	0	
事業活動支出計	31,183,686	32,931,622	
事業活動収支差額	784,021	220,818	
前期繰越金額	12,482,816	13,266,837	
当期収支差額	784,021	220,818	
次期繰越金額	13,266,837	13,487,655	

第 3 号議案: 理事・監事の選任

推薦委員会^(注1) は定款 第 4 章 12 条に基づき、以下の 15 名を 2023 年度－2024 年度の理事、監事として推薦する。※再任、新任の順に掲載、敬称略、順不同。

理事（再任）2023 年度－2024 年度:

氏名	組織	国／地域
Nor Azizi Bin Yusoff	ツン・フセイン・オン・マレーシア大学 (UTHM) 上級講師	マレーシア
Kenneth Gavin	デルフト工科大学 教授	オランダ
Andrew McNamara	シティー大学ロンドン 上級講師	イギリス
竹村 次朗	東京工業大学 准教授	日本
Michael Doubrovsky	沿岸・海洋工学研究所（テクニオン市） 教授 オデッサ国立海事大学 教授	イスラエル ウクライナ
Stuart Haigh	ケンブリッジ大学 教授	イギリス
石原 行博	株式会社技研製作所 課長	日本
Marcos Massao Futai	サンパウロ大学 准教授	ブラジル
Mounir Bouassida	チュニス・エルマナール大学 教授	チュニジア
Jignasha Panchal	ケルトブレイ社 (Keltbray Piling) テクニカルマネージャー	イギリス
Gülin Yetginer	エクイノール ASA 社 (Equinor ASA) プロジェクト開発センター・マネージャー	ノルウェー

監事（再任）2023 年度－2024 年度:

氏名	組織	国／地域
Goh Teik Lim	アツニュー・ギケン (Atsunew Giken Pte. Ltd.) 取締役	シンガポール

理事（新任）2023 年度－2024 年度:

氏名	組織	国／地域
堀越 研一	成和コンサルタント株式会社 代表取締役社長	日本
西岡 英俊	中央大学 教授	日本
Jianfeng Xue	ニューサウスウェールズ大学 上級講師	オーストラリア

※上記の新任理事については、別添資料に略歴を掲載。

注：推薦委員会^(注1) は 付属定款の第 4 条にて規定。

備考：第 3 号議案は 15 名分の一括承認形式です。

コメントがある際は会員サイトの投票ページ内のコメント欄にご記入ください。

理事候補者（新任）1：

氏名	堀越 研一 / ほりこし けんいち
現職	代表取締役 成和コンサルタント株式会社
国籍	日本

学歴

1996	西オーストラリア大学 博士課程修了、Ph.D. in Civil Engineering
1987	京都大学 大学院 修士課程修了、修士（工学）
1985	京都大学 工学部 交通土木工学科卒業、学士（工学）

研究・受賞等

2020	功労章、地盤工学会（JGS）
2017	事業企画賞、地盤工学会（JGS）
2014	論文賞（英文部門）、地盤工学会（JGS）
2010	事業企画賞、地盤工学会（JGS）
2005	国際活動奨励賞、土木学会（JSCE）

職務経歴

2021－現在	代表取締役 成和コンサルタント株式会社
2012－2021	技術企画部長 大成建設株式会社 技術センター 技術企画部
1995－2012	大成建設株式会社 技術センター 地盤・岩盤研究室
2019 - 2021	副会長 地盤工学会（JGS）
2017 - 2019	理事 地盤工学会（JGS）
2013 - 2020	事務総長 アジア土木学協会連合協議会（ACECC）

保有資格等

技術士（建設部門、総合技術監理部門）

理事候補者（新任）2：

氏名	西岡 英俊 / にしおか ひでとし
現職	教授 中央大学 理工学部 都市環境学科
国籍	日本

学歴

2009	東京工業大学、博士（工学）
2001	東北大学 大学院 工学研究科 土木工学専攻 博士前期課程修了、 修士（工学）
1999	東北大学 工学部 土木工学科卒業、学士（工学）

研究・受賞等

2022	論文賞（和文部門）、地盤工学会（JGS）
2019	技術開発賞、土木学会（JSCE）
2018	技術開発賞、地盤工学会（JGS）
2008	論文賞、土木学会（JSCE）
2006	技術開発賞、土木学会（JSCE）

職務経歴

2019－現在	教授 中央大学 理工学部 都市環境学科
2019－2021	学術部会委員 国際圧入学会、ICPE2021 組織委員会
2018－2019	研究室長 公益財団法人鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 基礎・土構造
2013－2018	主任研究員 公益財団法人鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 基礎・土構造
2001－2013	研究員 公益財団法人鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 基礎・土構造

保有資格等

技術士（建設部門）、地盤品質判定士

理事候補者（新任） 3 :

氏名	Jianfeng Xue / ジアンフエン・シュエ
現職	上級講師 ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）工学部
国籍	中国

学歴

2007	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン（アイルランド） Ph.D. in Civil Engineering (Geotechnical Engineering) ／博士号（土木工学、地盤工学）
2002	華僑大学（中国） M.S. in Civil Engineering (Structural Engineering) ／修士号（土木工学、構造工学）
1997	安徽建築大学（中国） B.S. in Structural Engineering／学士号（構造工学）

職務経歴

2017－現在	上級講師 ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）工学部
2009－2014	講師 フェデレーション・ユニバーシティ・オーストラリア
2009－2014	講師 モナシュ大学（オーストラリア）
2008－2009	助教授 同済大学（中国）
2007－2008	エンジニア コフィー社（Coffey Geotechnics Pty Ltd、オーストラリア）

保有資格等

Chartered Professional Engineer, Australia
(公認プロフェッショナルエンジニア、オーストラリア)
オーストラリア技術者協会フェロー